

○水生生物モニタリング調査結果一覧（猪苗代湖（北岸）I・猪苗代湖（南岸）J）

<猪苗代湖(北岸)I・猪苗代湖(南岸)J 水質底質採取項目>

項目	一般分析項目		放射性物質分析項目			
	水質	底質	水質 (Cs)	水質 (Sr)	底質 (Cs)	底質 (Sr)
J-1	○	○	○	○	○	○

<猪苗代湖(北岸)I・猪苗代湖(南岸)J 現場測定項目>

項目	調査緯度・経度		調査日時			水質					底質		その他	
	緯度	経度	日	時刻 (水)	時刻 (泥)	水温 (℃)	泥温 (℃)	性状	色相	混入物	全水深 (m)	透明度 (m)		
J-1 (表層)	37.4203°	140.1008°	H29.6.19	11:45	12:00	16.6	16.6	砂	7.5Y 2/2	シジミ	3.5	>3.5		
J-1 (下層)						10.6								

<猪苗代湖(北岸)I・猪苗代湖(南岸)J 一般分析項目・放射性物質分析項目 水質>

項目	調査緯度・経度		調査日時		pH	BOD (mg/L)	COD (mg/L)	DO (mg/L)	電気伝導率 (mS/m)	塩分	TOC (mg/L)	SS (mg/L)	濁度 (度)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)	Sr-90 (Bq/L)
	緯度	経度	日	時刻												
J-1 (表層)	37.4203°	140.1008°	H29.6.19	11:45	6.8	0.5	1.5	10.4	11.0	0.06	0.9	<1	0.6	0.0012	0.0090	—
J-1 (下層)					6.9	0.5	1.3	10.3	11.1	0.06	0.6	<1	0.4	N.D. (0.0012)	0.0081	0.00059

注) N.D.は、not detected(検出下限値未満)を示し、括弧内の数字は検出下限値を示す。

<猪苗代湖(北岸)I・猪苗代湖(南岸)J 一般分析項目・放射性物質分析項目 底質>

項目	調査緯度・経度		調査日時		pH	酸化還元電位 E <sub>N.H.E</sub> (mV)	含水率 (%)	IL (%)	TOC (mg/g-dry)	土粒子の密度 (g/cm <sup>3</sup> )	粒度組成							Cs-134 (Bq/kg-dry)	Cs-137 (Bq/kg-dry)	Sr-90 (Bq/kg-dry)	
	緯度	経度	日	時刻							礫 (2~75mm) (%)	粗砂 (0.85~2mm) (%)	中砂 (0.25~0.85mm) (%)	細砂 (0.075~0.25mm) (%)	シルト (0.005~0.075mm) (%)	粘土 (0.005mm未満) (%)	中央粒径 (mm)				最大粒径 (mm)
J-1	37.4203°	140.1008°	H29.6.19	12:00	7.1	287	30.1	2.0	2.4	2.716	0.2	1.5	46.1	49.1	0.7	2.4	0.24	4.8	28	220	0.17

注) N.D.は、not detected(検出下限値未満)を示し、括弧内の数字は検出下限値を示す。

<猪苗代湖(北岸)I・猪苗代湖(南岸)J 分析項目 水生生物>

地点	採取場所	調査緯度・経度		採取日	門	綱	目	科	学名	和名	個体数	採取重量 (kg-wet)	特記事項			放射性セシウム (Bq/kg-wet)			Sr-90 (Bq/kg-wet)
		緯度	経度										成長段階	消化管内容物	測定部位	計	Cs-134	Cs-137	
I-1 I-2 (北岸)	湖内 および 長瀬川	37.5047° 37.4995°	140.1143° 140.1409°	H29.6.19	脊椎動物	硬骨魚	コイ	コイ	<i>Tribolodon hakonensis</i>	ウグイ	35	3.6	成魚	不明消化物	内臓除去	34.9	4.9	30	0.25
					脊椎動物	硬骨魚	コイ	コイ	<i>Carassius auratus</i>	ギンブナ	6	1.5	成魚	不明消化物	内臓除去	30.9	3.9	27	0.45
					脊椎動物	硬骨魚	サケ	サケ	<i>Salvelinus leucomaenis</i>	イワナ	6	2.9	成魚	ワカサギ、スシエビ、コカゲロウ科、マダラカゲロウ科	内臓除去	55.2	7.2	48	0.11
					脊椎動物	硬骨魚	スズキ	タイワンドジョウ	<i>Channa argus</i>	カムルチー	2	2.2	未成魚	カマツカ、カエル類	内臓除去	30.4	3.4	27	0.41
					脊椎動物	硬骨魚	ナマズ	ナマズ	<i>Silurus asotus</i>	ナマズ	1	0.92	成魚	カマツカ	内臓除去	29.4	3.4	26	—
					粗粒状有機物	—	—	—	—	水底落葉等	—	0.26	—	—	—	25.2	3.2	22	—
J-1 (南岸)	湖内 および 鬼沼周辺	37.4203°	140.1008°	H29.6.19	藻類・植物	—	—	—	—	プランクトン (浮遊藻類)	—	0.022	—	—	—	N.D.	N.D. (1.7)	N.D. (1.5)	—
					藻類・植物	双子葉植物	スイレン	スイレン	<i>Nuphar japonicum</i>	コウホネ	—	0.33	—	—	1.4	N.D. (0.27)	1.4	—	
					節足動物	軟甲	エビ	テナガエビ	<i>Palaemon paucidens</i>	スジエビ	133	0.047	未成体/成体	—	—	7.1	N.D. (1.6)	7.1	—
					節足動物	軟甲	エビ	テナガエビ	<i>Palaemon paucidens</i>	スジエビ	499	0.31	未成体/成体	—	—	8.6	1.1	7.5	—
					軟体動物	腹足	原始紐舌	カニシ	<i>Bellamyia chinensis laeta</i>	マルタニシ	16	0.060	成体	—	軟体部	8.5	1.3	7.2	—
					脊椎動物	硬骨魚	コイ	コイ	<i>Tribolodon hakonensis</i>	ウグイ	10	2.0	成魚	不明消化物	内臓除去	31.5	3.5	28	0.27
					脊椎動物	硬骨魚	コイ	コイ	<i>Zacco platypus</i>	オイカワ	17	0.24	未成魚/成魚	—	—	8.76	0.96	7.8	—
					脊椎動物	硬骨魚	コイ	コイ	<i>Pseudogobio esocinus</i>	カマツカ	60	0.68	未成魚/成魚	—	—	9.28	0.78	8.5	—
					脊椎動物	硬骨魚	コイ	コイ	<i>Carassius auratus</i>	ギンブナ	80	0.43	未成魚	—	—	17.4	2.4	15	—
					脊椎動物	硬骨魚	コイ	コイ	<i>Carassius auratus</i>	ギンブナ	5	1.5	成魚	不明消化物	内臓除去	13.7	1.7	12	0.45
					脊椎動物	硬骨魚	コイ	コイ	<i>Hemibarbus barbuis</i>	ニゴイ	12	1.5	未成魚/成魚	不明消化物	内臓除去	20.0	2.0	18	0.38
					脊椎動物	硬骨魚	コイ	ドジョウ	<i>Misgurnus anguillicaudatus</i>	ドジョウ	12	0.036	未成魚	—	—	1.0	N.D. (1.1)	1.0	—
					脊椎動物	硬骨魚	サケ	サケ	<i>Salvelinus leucomaenis</i>	イワナ	2	0.73	未成魚/成魚	ワカサギ	内臓除去	49.5	6.5	43	—
					脊椎動物	硬骨魚	サケ	サケ	<i>Oncorhynchus masou</i>	サクラマス	3	0.21	未成魚	カキゴリ、アシマダラユスリカ属のササギ	内臓除去	0.92	N.D. (0.44)	0.92	—
					脊椎動物	硬骨魚	スズキ	サンフィッシュ	<i>Micropterus dolomieu</i>	コクチバス	1	1.6	成魚	不明消化物	内臓除去	61.1	7.1	54	0.27
					脊椎動物	硬骨魚	スズキ	ハセ	<i>Gymnogobius urotaenia</i>	ウキゴリ	7	0.085	未成魚	—	—	18.3	2.3	16	—
					脊椎動物	硬骨魚	ナマズ	ナマズ	<i>Silurus asotus</i>	ナマズ	1	0.90	成魚	不明消化物	内臓除去	36.5	4.5	32	—
					脊椎動物	両生	無尾	—	—	カエル類	69	0.039	幼生 (オタマシヤク)	—	—	31.9	3.9	28	—
					脊椎動物	両生	無尾	アマガエル	<i>Rana rugosa</i>	ツチガエル	8	0.061	成体	—	—	3.2	N.D. (0.91)	3.2	—
					脊椎動物	両生	無尾	アマガエル	<i>Rana porosa porosa</i>	トウキョウダルマガエル									
脊椎動物	両生	有尾	イモリ	<i>Cynops pyrrhogaster</i>	アカハライモリ	18	0.080	成体	—	—	1.1	N.D. (0.77)	1.1	—					

※1：生物は、当該調査水域またはその周辺で採取したものである。

※2：水生生物を複数採取できた場合は、これらを混合して試料とした。

※3：複数種の混合試料においては、最も多く採取できた優占種を、和名に下線で示した。

※4：生物試料は、全個体を測定することを原則とするが、消化器系に残留した未消化の餌料や底泥等は測定しないよう、内臓（胃、腸）の除去が可能な試料については、除去して測定した。

※5：プランクトン（浮遊藻類）とは、湖沼水または海水を40μmのプランクトンネットで濾した残留物を指す。

※6：河床付着物（藻類を含む）とは、石に付着した藻類をブラシ等で掻き落としたものであるが、無機態のシルト・粘土等の微細粒子が含まれることがある。

※7：N.D.は、not detected(検出下限値未満)を示し、括弧内の数字は検出下限値を示す。

※8：放射性物質濃度の数値には計数誤差等が含まれているが、本報においては記載していない。